

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: プールボンE-225FK H 硬化剤

種類: エポキシ樹脂系塗料 硬化剤

製造会社

会社名: AGCコーテック株式会社

住所: 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門: 品質保証室 江澤 孝行

電話番号: 03-5217-5104

FAX番号: 03-5217-5106

緊急連絡電話番号: 03-5217-5104

整理番号: 1271435112406

用途: プール塗装用

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

物理化学的危険性:

引火性液体 : 区分1

健康に対する有害性:

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷性/刺激 : 区分2

生殖毒性 : 区分1B

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分1

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分1

環境に対する有害性:

水生環境急性有害性 : 区分2

水生環境慢性有害性 : 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語:

- ・ 危険

危険有害性情報:

- ・ 極めて引火性液体および蒸気。
 - ・ 重篤な眼への刺激。
 - ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
 - ・ 臓器の障害。 (呼吸器、肝臓、中枢神経、全身毒性、腎臓、神経系)
 - ・ 長期または、反復暴露による臓器の障害。 (呼吸器、聴覚器、中枢神経系、神経系)
- 区分2 (脾臓、血管、肝臓)

- ・ 水生生物に毒性。

注意書き:

予防

- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
- ・ 取り扱い前に取扱説明書入手する。
- ・ 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・ 静電気放電や火花による引火を防止すること。
- ・ 防護手袋、防護メガネ、防護面を着用し、換気を十分に行なうこと。
- ・ ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。

対応

- ・ 火災の場合は、適切な消火方法をとること。
- ・ 吸引した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

- ・飲み込んだ場合は、無理に吐かせないこと。
- ・眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は、はずして洗うこと。
- ・皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、多量の水と石鹼で洗う。
- ・暴露又はその懸念がある場合は、医師の診察、手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合は、医師の診察、手当てを受けること。
- ・眼の刺激が持続する場合は、医師の診察、手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区分：

- ・混合物

成分及び含有量：

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法		毒劇法	PRTR法
			表示対象物質	通知対象物質		
変性ポリアミドアミン	—	—				
キシレン	1330-2-7	45		○		1種-63
エチルベンゼン	100-41-4	キシレンに50%含有		○		1種-40
イソプロピレンアルコール	67-63-0	5以下		○		
n-ブタノール	71-36-3	5以下		○		

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。
- ・かゆみ、炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合：

- ・直ちに、大量の清浄な流水で15分以上洗う。
- ・眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

- ・水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。
- ・無理に吐き出させないようにする。

5. 火災時の措置

消火方法：

- ・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
- ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

消火剤：

- ・二酸化炭素、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤：

- ・棒状注水

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・漏出した場所の周辺をロープを張り立ち入り禁止にする。
- ・付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。

環境に対する注意事項：

- ・多量の場合は、流路を盛土などで囲って流出を防止する。
- ・少量の場合は紙、布、砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。
- ・大量の場合は、火花の出ないシャベルなどで密閉できる容器にすくい取り、焼却する。

※ 流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- ・火気厳禁。炎、花火、高温体との接触、その他点火源となるおそれのある機械等の使用を禁止する。
- ・取り扱いには換気の良い場所で行ない、状況によって、保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を使用する。

保管：

- ・容器を密栓し、冷暗所に保管する。

- ・その他、電気機器は防爆構造とするほか、消防法などの法令に定めるところに従う。
- 混合させてならない物質：
- ・ 知見なし
- 容器包装材料：
- ・ 容器は破損、腐食、割れなどのないものを使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度：

化学物質名	暴露管理基準ppm	暴露管理基準mg/m ³	skin
キシレン	100		
イソプロピレンアルコール	400		
n-ブタノール	25		
化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m ³	skin
キシレン	100		
エチルベンゼン	100		
n-ブタノール			

設備対策：

- ・ 蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。

保護具：

呼吸器の保護具：

- ・ 有機ガス用防毒マスクを着用する。

目の保護具：

- ・ 取扱いには、保護メガネを着用すること。

手の保護具：

- ・ PE、ゴム製手袋等の非浸透性の手袋を着用する。

皮膚及び身体の保護具：

- ・ 長袖作業委などを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	： 液体	
色	： 淡黄褐色	
臭い	： 溶剤臭	
pH	： データなし	
融点／凝固点	： データなし	
沸点	：	
初留点	： データなし	
沸騰範囲	：	
引火点	： 12.0 °C	セタ密閉式
自然発火温度(発火点)	： データなし	
燃焼性(個体、ガス)	：	
燃焼または爆発範囲の上限／下限	： データなし	
蒸気圧	： データなし	
蒸気密度	： データなし	
蒸発速度	：	
比重(相対密度)	： 0.90	
溶解性	： データなし	
オクタノール／水分配係数	： データなし	
分解温度	： データなし	

10. 安定性及び反応性

安定性：

- ・ 通常 of 取扱条件においては安定。

危険有害反応の可能性：

- ・ 火気により引火、爆発の危険有り。酸、エポキシ樹脂と発熱を伴って反応する。

避けるべき条件：

- ・高温、火気、炎との接近、加熱を避け、みだりに蒸気を発生させないようにする。
- 混触危険物質：
- ・知見なし
- 危険有害な分解性生成成分：
- ・知見なし

11. 有害性情報

刺激性：

- ・皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。

急性毒性：

- ・データなし

亜慢性毒性：

- ・データなし

*長期間、あるいは繰り返しによる接触は、アレルギー反応などを起こす可能性がある。

*長期間、あるいは繰り返しによる暴露は呼吸器系統(せき等)や皮膚(発疹、刺激等)、眼(結膜炎、角膜損傷)への悪い影響を与える。

生殖毒性：

- ・データなし

催奇性：

- ・データなし

溶剤

キシレン

急性毒性—経口ラット	LD ₅₀	4300 mg/kg
急性毒性—吸入マウス	LC ₅₀	6700 ppm/4h

n-ブタノール

急性毒性—経口ラット	LD ₅₀	4360 mg/kg
急性毒性—吸入マウス	LC ₅₀	8000 ppm/4h

12. 環境影響情報

- ・生殖毒性 : 知見なし
- ・残留性/分解性 : 知見なし
- ・生体蓄積性 : 知見なし
- ・土壌中への移動性 : 知見なし
- ・他の有害影響 : 知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法令の分類では廃油と廃プラスチック類の混合物で、焼却する場合は焼却設備を用いて少量ずつ焼却する。また産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。

汚染容器および包装

- ・内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行なう。

14. 輸送上の注意

- ・「取扱い及び保管上の注意」の項に記載によるほか、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
- ・容器にもれのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- ・国連分類: クラス3
- ・国連番号: 1264
- ・容器等級: II
- ・その他、消防法、船舶安全法などの法令に定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法	: 危険物第4類 第1石油類 (非水溶性液体)
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	: 危険物表示別表第5 (引火性液体類)
PRTR法	: 第1種指定化学物質 No.63キシレン, No.エチルベンゼン
労働安全衛生法	: 第57条2 通知対象物質 No.137キシレン, No.71エチルベンゼン, No.475n-ブタノール

No.492イソプロピルアルコール

16. その他の情報

引用文献

- | | |
|-------------------|------------|
| ・ 12093の化学商品 | 化学工業日報社 |
| ・ 化学物質の危険、有害便覧 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 知っておきたい職場の化学物質 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 製品安全データシートの作成指針 | 日本化学工業協会 |

その他

- ・ 記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
- ・ 記載事項は通常の実用を目的とするものですので、指定された用途、用法以外には使用しないでください。
- ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報にもとづいて作成しておりますが、今後法律、規則等の改正、新たな知見及び試験等により改正することがあります。
- ・ このSDSは、日本国内においてのみ適用するものとします。
- ・ PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0.1%以上の場合に対象となります。
- ・ PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。